

カトリックさいたま教区サポートセンター ボランティア活動報告⑨



いわきサポートステーション もみの木

福島県いわき市中央台高久の仮設住宅の一角に、新たな支援施設としてログハウス「いわきサポートステーションもみの木」が建設されます。鉄入れ式は2011年10月17日。作業が順調に進めば12月末には完成する見込みです。ログハウスは、仮設住宅の住民の交流や憩いの場として活用する目的で建てられます。3・11の震災後、現在に至るまで続けてきた傾聴ボランティア活動も、これからは仮設住宅に住む被災者たちの間に根を下ろし、さらに本格的に活動できるようになるでしょう。今まで教区ボランティアやカリタスさいたまへの義援金、お祈りに協力して下さった多くの方々の愛の働きの結晶です。これまでの支援活動について皆さんと神に心から感謝しつつ、これからの更なる継続的かつ長期的なご支援をお願いしたいと思います。

すでに「あそこにはログハウスが建つらしい！」と出来上がるのを楽しみに待っておられる仮設住宅の方々がたくさんいらっしゃいます。いわきサポートステーション「もみの木」が、クリスマスが来るのを待つ子どもたちが感じる、あのワクワクするような希望をたくさんの人々と分かち合うことができますように。



「もみの木」ログハウスのイメージ図



「もみの木」ログハウスの建設地

交流カフェもみの木

湯本ステーション常駐スタッフのさまざまな交渉努力の結果、ログハウス開所前期間の活動場所としてプレハブ建設ではなく、UR都市機構案内所内のスペースを臨時に借り、「交流カフェもみの木」を2011年11月1日（火）に開くことになりました。10月中旬には教区ボランティアがきれいに掃除をして、カフェの準備を整えています。この場所で、ログハウスでの支援活動の下地作りが始まるのです。仮設住宅の団体からは、ここを子どもたちの学習スペースとして利用させてもらいたいという要望もでています。そのため、現在ボランティア活動では今まで通り傾聴訪問を続けながら新しい交流カフェの案内もしています。

11月3日（祝・木）には、近くの公園で「秋の小さなお祭り」第二弾を開催する予定です。今回は栃木県の教会が主催、本場・宇都宮の餃子といわき教会の信徒によるサンマ汁がふるまわれます。お楽しみに！！



UR都市機構案内所内に設けられた「交流カフェもみの木」



「もみの木カフェ」内部

第29チーム・2011年10月13日(木)～10月18日(火)

■湯本サポートステーション（福島県いわき市）

（信徒男女各1名、シスター1名、計3名）

木曜日はさいたま教区事務所に集合。湯本ステーションのビデオを観る。午後6時の夕食後、明日のスケジュールを確認して、チームメンバーで雑談。

金曜日の朝9時半にもみの木カフェ（UR都市機構案内所）に向けて出発し、掃除とミーティングをした。昼食をとり、午後1時にいわき教会で傾聴ボランティア「みみ」とミーティング、その後仮設住宅へ向かう。3時半には報告会をし、午後6時には湯本ステーションに帰着。

土曜日の午前中、もみの木カフェのために買い物をし、備品を設置したりして、カフェを開く準備をした。小名浜で昼食をとった後、午前の作業を続ける。午後4時にカフェを出発し、夕食の買い物を済ませて5時半頃帰着。

日曜日朝9時から湯本ステーションにてミサ後、湯本教会信者の皆さんと交流。さらに10時半からいわき教会でミサ。フィリピン人信徒との集まり。信徒リーダーたちと出会う。今度から始まる英語ミサのお知らせ。氏家神父に報告と提案。それぞれ昼食。もみの木カフェ準備、他。

月曜日の朝7:40、いわきサポートステーション「もみの木」のログハウス建設のための鍬入れ式が行われた（司式は氏家師）。参加者はいわき教会会長、あしたげんきになあれプロジェクトの方、いわき傾聴「みみ」の会長とメンバー、広野みかんクラブのみなさん。9時半に朝食を済ませた後、掃除とUR都市機構案内所に設けた「もみの木カフェ」への出発の準備をする。午後いっぱい「もみの木カフェ」で準備を続けた。午後4時に湯本ステーションに到着し、ボランティア活動の終了。



鍬入れ式の様子

第30チーム・2011年10月20日(木)～10月25日(火)

■湯本サポートステーション（福島県いわき市）

（信徒女性1名、シスター1名、司祭1名、計3名）

木曜日、さいたま教区事務所を出発後、午後2時に湯本ステーション到着。3時から5時半まで常駐スタッフに車で被災地、仮設住宅、もみの木カフェを案内された。その後、買い物。6時から9時まで夕食、風呂。

金曜日の朝食後、湯本ステーションの活動ビデオを観る。9時半に出発。10時にもみの木カフェ到着。備品のシール貼りや不足品チェックなどカフェの準備をした。午後1時にいわき教会に到着し、傾聴についてのミーティング。いわき傾聴グループ「みみ」と仮設住宅の傾聴に向かう。午後3時半から5時まで氏家神父と参加者で訪問についての分かち合いに続き、今後についての意見交換を行った。6時に湯本ステーションに帰宅。

土曜日、9時半にステーションを出発。まずいわき教会で氏家神父にあいさつ。新潟震災ボランティア会議から7名のグループが日帰りの視察。のち、久ノ浜などの被災地へ視察。午後1時、いわき教会で傾聴ボランティアのグループと合流し、打ち合わせ。1時半から3時半まで仮設住宅を傾聴訪問する。午後3時過ぎいわき教会に戻り訪問を記録。その後、分かち合いをして解散。6時に帰宅した。

日曜日主日ミサの後、湯本教会の信徒さんたちと歓談。昼食後12時半に仮設住宅に向け出発。1時から3時の間、傾聴訪問。帰宅後、活動を記録して分かち合い。夕食をとる。

月曜日、仮設住宅に向け出発。途中雨が降り出したので引き返す。帰宅後、支援物資の整理。昼食後、再び仮設住宅に向け出発。もみの木カフェに立ち寄ってから帰宅。その後、訪問活動を記録し、夕食をとった。



いわきサポートステーション「もみの木」の建設現場